

福島原発から45km~85kmの仙南で暮すわたしたち

「いのち」の未来のために

——チェルノブイリ原発事故の被災者、ベラルーシの子どもたちが伝える低線量被曝——

チェルノブイリへのかけはし代表 野呂美加さん講演会

計画避難区域よりは安全・・・福島市や郡山市、伊達市の一部よりは空間線量が低いから大丈夫・・・？
ただ、わたしたちは、3月のあの日から、見えないけれど確かにここにある「放射能」に脅えて生きています。本当のことが知りたい。何が本当なんだろう。本当のことってひとつなのかしら。

放射能とともに未来を生きていかなければならなくなってしまった小さな人たちが、(家族が、自分が)5年後、10年後、そしてもちろん「たいせつな今」も、健やかに笑って生きていけるように、勇気を出して知ることから始めませんか？25年前のチェルノブイリ原発の事故の後に、被災したベラルーシの子どもたちを、夏休みの1ヶ月間約20年にわたり日本で保養させてきたNPO法人「チェルノブイリへのかけはし」代表の野呂美加にお話をうかがいます。

* 野呂さんがずっと使っている放射線検知器「たんぼぼ」と同じ機種で、事前に丸森、角田を中心に仙南の何カ所かを測定し、そのデータを見ながらアドバイスをいただく予定です。

・ 7月31日(日) 9時30分~12時(9時開場)

・ 会場 館矢間まちづくりセンター

(丸森町館矢間館山大門148-1)

*阿武隈急行丸森駅徒歩12分 駐車場あり

・ 参加費 500円 (必要経費以外はチェルノブイリへのかけはしの活動費に寄附させていただきます。)

・ 定員 200名 *会場は前半分が板間です。必要の方は座布団をお持ちください*冷房はありません。扇風機は、あります。

・ お申し込み 北村みどり(丸森かたくり農園) tel&fax0224-78-1916

メールアドレス katasato@khaki.plala.or.jp 資料準備の都合上、必ずお申し込み下さい。

* 託児はありませんが、お子さんといっしょに休めるような休憩室は用意してあります。

・ 主催 野呂美加さんお話し会実行委員会

